

熊本県言語聴覚士会

会報

KSTNET

第38号 平成23年3月31日発行



会長 小菌真知子

【新年度の体制へ向けて】

平成22年度の年度末が近づき、来年度の準備が忙しくなりました。

新年度は、役員改選の選挙の年です。

理事会では役員改選準備とともに、会員の資質向上と地域貢献に寄与する新しい県士会システムを構築中です。

【全員参加できるように】

当熊本県言語聴覚士会会員数は、1999年創設時の10倍以上になり、4月には300名を大きく超える予定です。

まずはブロック内の連携をとりやすくする目的で、これまでの5ブロックから、さらに、熊本市内を東西南北に分け、より地域に即したブロックにします。互いの顔が分かるブロックでそれぞれの役割を果たし、新人の方も気軽に参加でき、悩みを聞いてもらえるような、全員参加の会になるよう願っています。

【地方でも全国レベルの研修】

日本言語聴覚士協会主催の認定言語聴覚士制度が始まり、本会会員なかでも「認定言語聴覚士」の講習を受け、試験に合格された人がでてきています。

言語聴覚士の資質向上のために重要な講習ですが、この認定講習の受験資格として、まず協会主催の基礎講座、専門講座などの条件を満たす必要があります。

会員の皆さんができるだけ早く受講資格が取れるよう、全国レベルで行なわれていた専門講座をできるだけ県内でも開催するようにしています。今年度は、12月に田川皓一先生に、専門講座をお願いしました。23年度の総会でも、単位の取得できる専門講座を予定していますので、ぜひ多くの方の参加をお待ちしています。これから、入会される新入職員の方々に

平成22年度のご協力ありがとうございました。来年度も発展する県士会を目指して全員で協力していきましょう。

【事業部報告】

熊本市民健康フェスティバル



玉名市健康食育福祉フェア



今年度、事業部では熊本市民健康フェスティバル・玉名市健康食育福祉フェアを開催しました。

脳力チェック、聴力検査など大盛況で終わる事ができました。ご協力いただいた先生方お疲れ様でした。来年度も宜しくお願い致します。

事業部部长 悠紀会病院 山本 恵仙

ブロックだより



[北部ブロック報告]

北部ブロック会では2月18日に北部脳神経外科・神経内科にて勉強会を開催いたしました。

今回は熊本市立植木病院、悠紀会病院が担当し、各病院での摂食・嚥下リハの現状の報告と課題に対する意見交換を実施しました。1年間ブロックの先生方には拙い運営でご迷惑をおかけいたしました。ご協力ありがとうございました。

青磁野リハビリテーション病院 野田和宏

[東部ブロック報告]

3月25日、熊本セントラル病院にてブロック勉強会を開催しました。

熊本県ひばり園の西村美保先生はDVD等も使って事業内容や流れをより分かりやすく話していただきました。療育や個別訓練・補聴器のフィッティング・保護者支援・地域支援だけでなく、卒園児支援も行っているとのことでした。

次に愛ライフ内牧の下崎由美子先生より介護老人保健施設における言語聴覚士の役割について、サンライズヒルの大崎功二先生からは施設内における摂食・嚥下に対する取り組みと今後の課題についての報告がありました。県内の老健に勤務するSTの数は少なく、その厳しい状況の中、各施設で実施している先を見据えた様々な取り組みや安全に食事をするための環境調整などの話しを聞くことができました。

同じブロック内ではありますが、各施設の内容や取り組みを聞く機会が少なかったため、今回の勉強会はそれを知る良い機会になったのではないかと思います。

阿蘇温泉病院 橋口千穂

[中部ブロック報告]

中部ブロックでは、勉強会を計画しておりましたが、講師の先生との予定が合わず実施することができませんでした。参加を検討されていた皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

一年間、皆様に支えられて何とかブロック長の大役を果たすことが出来ました。皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

御幸病院 林亜星

[南部ブロック報告]

南部ブロックでは、1月29日に熊本労災病院で勉強会を行いました。内容は、畠山先生が「PTEGについて」、八田先生が「嚥下障害者の検討～経口摂取の可否とPEG」というテーマで話されました。今年度の勉強会は、食事からPEG、PTEGなど、摂食や嚥下障害についてのテーマが続き、関連した事項として学ぶことができました。外部講師をお呼びした研修会ではできませんでしたが、呼吸ケアや吸引についての話を聞きたいとの要望が出ていました。講師等お勧めの情報がありましたら教えていただきたいと思っております。次回は4月に八代医師会病院での勉強会を予定しています。

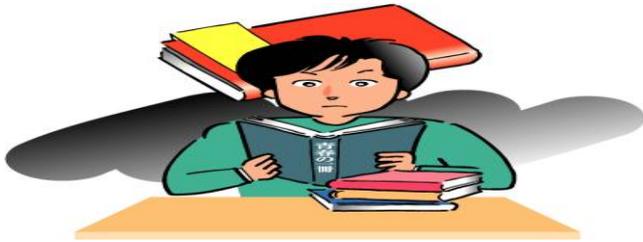
熊本県子ども総合療育センター 森田朋子

[西部ブロック報告]

2月25日（金）に勉強会を開催予定でしたが、講師の都合により開催できませんでした。今年度もいろいろと先生方にはお世話になりました。また来年度も宜しく願い致します。

楽洋の里 池田 聖司

書籍紹介

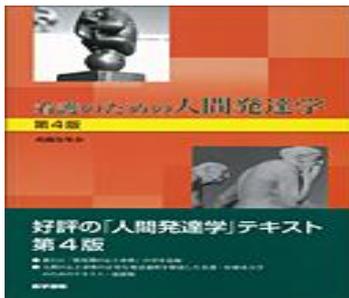


【看護のための人間発達学】

発行年月：2011年3月

ISBN978-4-260-01327-7

医学書院：3150円



人間の心と身体の正常な発達過程を解説した看護・医療系大学のための最新テキスト

人間が胎児期から乳幼児期を経て学童期、思春期、青年期、成人期、老年期へと成長発達していく過程でのさまざまな心と身体の正常な発達に関して解説。今版から新たに胎児期の章が追加、誕生以前に始まる発育と発達についても言及された。また、本書が看護系大学だけでなく、医療・スポーツ医学系の学部でも利用されていることを考慮し、人間の正常な発達を支える社会資源についても大幅に加筆。データ類を更新し、内容の充実を図った。

理事会議事録



第4回理事会

平成22年度 熊本県言語聴覚士会 第4回理事会

日時：平成23年1月14日(金)

場所：菊南病院

出席：小菌、三浦、丸内、大津、池田(聖)、森崎、後藤、平ノ上、小堀、山本(由)、吉松、兼田、野田、陣内、山本(恵)、下田、小堀、原田、大塚、宮本

報告事項(小菌会長)

1. 日本言語聴覚士会秋期都道府県士会協議会(11月6日：東京)報告
訪問リハビリテーションについて
5万円の活動補助金については、継続する
2. 第4回熊本県医療・保健・福祉連携学会進捗状況(2月13日 発表者：林亜星)
会費 3000円から2000円へ
今年は日曜日に開催予定。10人程度は会から参加する必要あり。
3. 2011年10月23日 『リハビリテーション・ケア合同研究大会くまもと2011』の協力依頼に熊リハ病院副院長山鹿眞紀夫先生来学
県士会へシンポジウムへの参加依頼あり
4. 九州地区言語聴覚士代表者会議の報告
来年度(平成23年度)→長崎
再来年度(平成24年度)は、福岡の予定だったが全国大会と重なるため、熊本へ打診あり→受諾
5. 藤川隆夫県議会議員熊本市選挙区立候補にあたり、推薦依頼あり
6. 訪問リハビリテーション研修協議会報告(森崎理事)
STからの応募が少なかった
今年は10名参加する予定

市内西部ブロック あきた病院 (4人) 聖ヶ塔病院 (4人) 熊大病院 (2人) 22名	五福幼稚園 (1人) 青磁野病院 (7人) 熊大病院 (1人)	慶徳小学校 (1人) 青翔苑 (1人) 杉村病院 (1人)
市内北部ブロック 朝日野 (5人) 菊南病院 (3人) 熊大 (1人) 三気の家 (1人) 竜山病院 (2人) 34名	吉田病院 (1人) 機能野病院 (10人) 熊本発育クリニック (1人) 北部脳神経 (3人)	かなこぎ苑 (1人) 植木病院 (1人) 保健科学大学 (2人) 武蔵丘病院 (3人)
市内東部ブロック おとなの学校 (1人) 帯山小学校 (1人) せきれい保育園 (1人) フォレスト (1人) 28名	ひばり園 (8人) 日赤 (2人) 鶴田病院 (1人) ファイブ (2人)	福祉相談所 (1人) 江南病院 (4人) 西日本病院 (6人)
市内南部ブロック 済生会 (3人) 城南病院 (4人) 東病院 (1人) 35名	なでしこ園 (1人) にし熊本 (5人) 平成とうや病院 (7人)	桜十字病院 (9人) 御幸病院 (5人)
市内中部ブロック 九州記念病院 (1人) 十善病院 (2人) はっとり診療 (2人) 28名	発達支援センター (5人) 水前寺東家病院 (9人) 健軍小学校 (1人)	第1病院 (2人) 江津湖 (2人) 託麻台 (4人)

1. ブロックの再検討

各ブロックの意見

5ブロックから10ブロックへ

ブロック組織数の検討

齋藤病院→平成とうや病院→市内南部ブロックへ移動

成仁病院→県東部ブロックへ移動

健軍小学校→市内中部ブロックへ移動

託麻台病院→市内中部ブロックへ移動

2. 組織の検討

山本理事より説明

<組織図案>

組織の再編成について検討

NST、Peg ケア、訪問リハ、K ストリーム (連携パス)、医専連、医保副、全国会議、

→3月までに検討する予定

3. 新年度役員選挙

ブロック長と理事の兼任は難しいのでは？

ブロック長を持ち回りにしてはどうか？→一年毎

各ブロックと理事会のつながりを持たせたほうがいいのでは？

→組織の中に、ブロック会の組織を入れ込んではどうか？

選挙日程 公示日 平成23年1月24日

立候補 2月14日～28日

送付先 にしくまもと病院

選挙管理委員会

施設に1つ送付する

4. 事務局の交代・引継ぎ

メディカルカレッジ青照館

来年度は、徐々に引き継ぎをしていく形をとっていく

→2年間を任期

カスタネットは林先生へ打診する

各部局

事務局 (大塚理事)

1 総会日、講師依頼

平成23年 5月15日もしくは22日

講師→生涯学習の専門講座にしてはどうか？学術研修部

2 3月2日 (水) シティ FM 出演の件

丸内先生より小児関係の先生へ打診していただく→1月第3週まで

3 紀要作成の件

今年度も作成予定

来年度の予算

学術部 (下田理事)

生涯学習講座報告

12月19日 専門講座 「神経心理学の画像診断」 70名参加

基礎講座 兼田理事「言語聴覚療法の動向」 30～40名参加

事業部 (山本理事)

熊本市民健康フェスティバル 650名

玉名市民健康フェスティバル 150名

*言語聴覚士に興味を持っている学生が増えてきている様子

財務部 (三浦副会長)

2010年度年会費徴収状況の報告

102施設 248名
 自宅会員 10名
 合計258名
 既払い→204名 未払い→54名
 未納者への納入のお願い(平成23年2月15日締め切り)
 現在の財務状況の報告

保険部(大津理事)
 部長交代の件→後任を打診中
 保険部部長は、理事から選出してはどうか?

シルバーサポートネット(兼田理事・森崎理事)
 地域言語聴覚療法スタートブック作成→(600部)
 予算 242250円
 会員すべてに行き渡るようにする
 →1000部
 *今後は地域言語聴覚療法スタートブックを使用しながら研修会などしていく予定

- 各ブロックアンケートの報告
 別紙資料
 遠方からの理事については、交通費が掛かりすぎている状況。→

その他

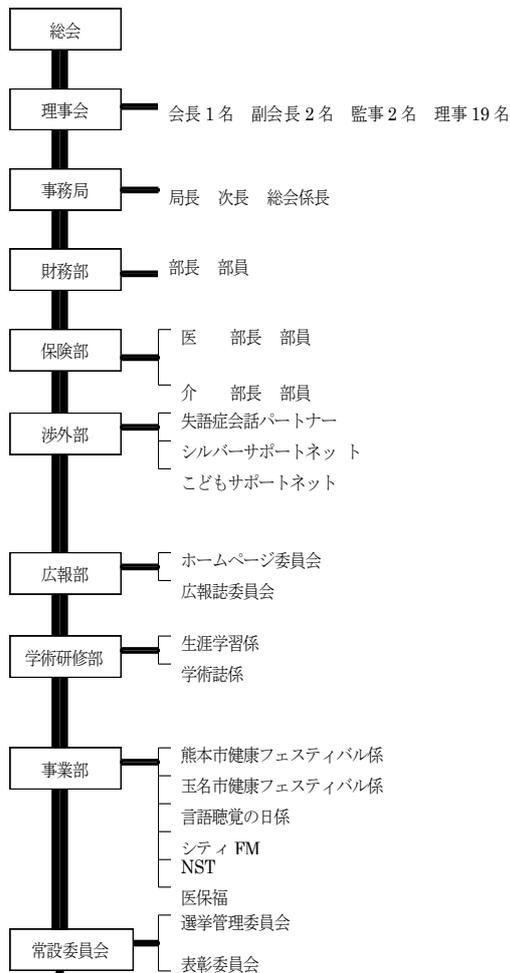
<療育支援ネットワークの報告>(陣内理事)
 熊本市療育支援ネットワーク会議 分科会議事録
 (移行支援について)

- 園と学校の移行について
- 1月末までに意見があれば陣内先生へ連絡する
- 1月22日の子どもサポートネットの集まりでも意見を聞いてみる

<養成校より>(小堀理事)
 入学式・卒業式→県士会より会長・理事が出席したほうがいいのか?

臨時理事会 3月25日(金)
 場所:菊南病院
 第1回理事会 4月15日(金)
 場所:熊本駅前看護リハ学院

<組織図案>



発行:熊本県言語聴覚士会

事務局:菊南病院 (TEL096-344-1711)
 〒861-5513 熊本市鶴羽田町 685

広報部:宇賀岳病院 (TEL0964-32-3111)
 部長:平ノ上 隆康

編集:メディカル・カレッジ青照館
 (TEL0964-54-2211)

編集責任者:小堀 晶弘